

ふ だんの く らしを し あわせに

社協だより 土佐



ムックン



撮影者：福岡 照男 氏（「写真で土佐市をPR！フォトコンテスト2019」入賞作品）

- 1・・・生活支援コーディネーター活動日誌
- 2・・・あったか通信
- 3・・・【特集】対談「土佐市長×土佐市社協会長」
- 5・・・土佐市生活相談センターからのご案内
日常生活自立支援事業について
- 6・・・子ども食堂の開催状況

2021
第 73 号
winter

平成27年4月の介護保険法の改正により、生活支援サービスの充実や地域における支え合い体制づくりを推進するための「生活支援体制整備事業」がスタートしました。土佐市では令和2年度より全域を土佐市社協が受託し、住み慣れた地域でこの先も地域住民が安心・安全に暮らせるように、地域住民の自助・互助による支え合い・助け合い活動の発掘をおこなっています。

地域食堂 どんぐり (戸波地区)

喫茶の少ない地域の中に、「みんなが気軽に集まれる居場所を作りたい！」という地域住民の思いから今年7月からスタートしました。地域のボランティアさんと一緒に、普段は「カラオケ茶家 どんぐり子」を営業されているママさんが、アットホームな雰囲気の地域食堂を開催しています。

カレーやシチュー、おでんなど一人ではなかなかつくる機会のない料理を届けられたらというママさんの温かい思いで毎回手づくりの料理が振舞われています。ママさんの入れる本格コーヒーも楽しめます！

みなさまのお越しをお待ちしています！



開催日時：第1水曜日 11時30分～13時30分

場所：カラオケ茶家 どんぐり子 (土佐市東鴨地1050-2)

※諸般の事情により中止する場合があります。

開催月には、チラシなどでお知らせいたします。

高石ほのぼのネット (高石地区)

地域住民と高石小学校1・2年生との交流の場として毎年開催されており、お互いが顔見知りになるきっかけとして、子どもたちの見守りや地域の皆さんから知恵や地域文化の伝承がおこなわれています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、規模縮小となった昼食会は子どもたちの食育の場としても活用されています。

子どもたちからのさまざまな発表を聞いて地域のみなさんも元気になる、地域住民からはお礼として手づくりの小物などをプレゼントされ、交流を図られています。

今後は、若い世代の参加を促していくことで、地域のつながりの輪を広げて地域を盛り上げていきたいそうです。



新居スマイルクラブ (新居地区)

平成11年にJA新居支所女性部の部員さんと職員さんがホームヘルパー3級を取得されたことをキッカケに、高齢者の健康づくりや寝たきり予防、ふれあい運動を地域ぐるみでおこなうボランティア活動を目的に取り組み、JA新居支所助け合い組織「新居スマイルクラブ」を結成されました。

新居地区の70歳以上の方を対象にした「ミニデイサービス」(年8回程度)、毎週水曜日には「いきいき百歳体操」をおこない、地域住民だけでなく外部団体を招いてさまざまな催しをされています。加えて、地域の子どもの楽しめる場を地域につくりたいという思いから「こども劇場」も実施されており、レクレーションやニュースポーツ、ミニデイとの交流会などをされています。

また今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で新居小学校の運動会に地域住民が参加できなかったことから、ミニデイで運動会の映像や写真のスライドショーを流し、地域住民と子どもたちの交流の継続・感動の共有をおこないました。



あったかふれあいセンター高岡「あったか通信！」

子どもから高齢者まで、年齢や障害の有無にかかわらず誰もが気軽につどい、必要なサービスを受けることができる地域福祉の拠点として、支え合いの仕組みづくりや提供をおこなっています。(介護保険サービスではありません。)

開所日 月～金(土日・祝日・年末年始はお休みです。)
 開所時間 9:00～16:00
 場所 土佐市高岡町甲1771(旧土佐市老人憩いの家)
 電話番号 ☎ 088-881-5472 ☎ 090-7783-7814

利用料無料!

(飲食代や創作活動にかかる材料費等は自己負担となります。)

集い

子どもから障害のある方、高齢者まで気軽に集える居場所。

訪問

独居高齢者や障害のある方への見守り訪問をおこないます。

生活支援

日常生活での困り事などの援助をおこないます。

サテライト

船越サテライト『船越おしゃべり家』 新型コロナウイルス感染症のためしばらく休止 鳴川公園 やすらぎの家
 蓮池サテライト 毎月第2・4月曜日(祝日除く) 10:00～13:00 蓮池コミュニティーセンター
 塚地サテライト『塚地みんなこいこい会』 毎月第4木曜日(祝日除く) 9:30～13:00 塚地集会所

フレイル出前講座



仁淀川町から9名のフレイルサポーターさんにお越しいただき、フレイルについて学びました。

あったかカフェの日

栄養士さんから「低栄養」について学びました。



あったかつながりカフェ(プレオープン)

9名の参加者から認知症についていろいろお話が聞けました。包括も交え専門的な話もあり、とても良いカフェになりました。



来年度より定期開催予定!

集いの様子

拠点では、脳トレ、読書、塗り絵、テーブルゲーム、健康麻雀など利用者の皆さんはそれぞれが、思い思いに過ごされています。



蓮池サテライト
高知赤十字ミニ講座「栄養について」



塚地サテライト
小松弘幸先生「ねころび体操」

土佐市には、あったかふれあいセンター高岡の他に2箇所のあったかふれあいセンターが開所しています。

事業受託者は異なりますが、似たような活動を実施していますので、お近くのあったかふれあいセンターに是非一度ご参加してみてください。

宇佐 あったかふれあいセンター さくら貝 (088-856-0322)

戸波 あったかふれあいセンターとさ (088-855-1385)

地域福祉の両輪として

新型コロナウイルス感染症によって我々の生活は大きく一変しました。これまでの常識が通用しなくなった、このタイミングだからこそ、行政と社協の協力がより必要とされています。新しい生活様式のなかで求められる「新しい地域福祉」の実現に向けた一歩として、今回は板原市長とこれからの土佐市について対談をさせていただきました。



土佐市長
板原 啓文

土佐市社会福祉協議会会長
徳永 浩三

市長 定年退職をされた後は、地域においてさまざまな役職をお受けくださり、社協の会長に就任されて、もうすぐ1年がたとうとしています。この1年はいかがでしたか。

徳永 就任した際の理事会で、理事の皆さんに伝えたのが、「小説の第1行目を書き始めた。1行目の小説を書き始めたのなら、最後までしっかりと、終わりの行まで書きたい。」ということ。

行政との協調性をもってやることが、市民の生活を豊かにすることにつながると考えていますので、これまで以上に、市とのバランスをとりながら、職員が気持ちよく働ける安定した社協を築いていくことが自分の役割と考えています。

市長 また、今年度においては、新型コロナウイルス感染症の関係で、貸付対応など大変ご苦労をおかけしまして、ありがとうございます。

徳永 コロナの対応については、緊急小口資金での対応が246件、総合支援資金での対応が144件、延長での対応が92件となっております。土佐市社協では「断らない相談」を目指して進めていますので、より気軽に相談のできる場所として、社協の存在を地域に広めていきたいと考えています。

市長 本当にありがたいことです。市との連携のなかで、きめ細かな福祉サービスがおかげさまで出来ていると思っています。どこに相談をしたら良いかわからない、市役所には行きにくいという方にとっては、断らない姿勢というのは、ありがたく大事なことだと思います。

徳永 そういったなかで、民生委員さんが不在の地域が増えてきているという課題があります。社協の方で



も、民生委員さんの不在地域の見守り活動などをおこなっています。特に独居高齢者の方はいつ何が起きてもおかしくないですので、不在の地域をなるべく無くして、身近な存在としての民生委員さんを配置していきたいと考えています。

市長 仰る通りだと思います。

この件については、毎年減っており空きが埋まらないという状況が続いておりまして、市としてもOBOGや福祉に携わってこられた方をお願いしておりますが、なかなか引き受けてもらえないという状況になっております。やはり、守秘義務など、担うことを重荷に感じておられる方が多くおられますね。

徳永 私自身も民生委員をやっていますが、普段おこなっているのは、ちょっとした声かけと月2回の見守り活動、定例会への参加ですので、そんなに時間はとられないです。事業内容が知られていないことが、担い手不足の原因だとも思います。

市長 本当に困ったときに、社協への相談の話もありましたが、身近な民生委員さんというのは非常に大きな存在だと思います。

誰に聞いたらいいか分からない、相談していくのは恥ずかしい、どこに行ったらいいか分からないというときに、身近に相談のできる「困ったときの民生委員さん」には活躍していただいていますので、重要な存在だと思います。



関係機関内でアイデアを出し合いながら、不在地域を埋めていき、退任の際には次の方を決めていただくようお願いをするなどの取り組みを進めていきたいと思っています。

徳永 日常的な見守り活動では、土佐市社協でも受託運営をおこなっているあつたかふれあいセンターが、日々の集いの場の提供や生活支援、訪問活動をおこなっています。利用者さんも増えまして、コロナ対策として人数制限などをおこなったためか、市内にある3つのあつたかを行き来する利用者さんも増えてきています。

そうしたときに、緊急事態宣言解除後の対応にバラツキがあったことに対して利用者さんから、「あそこはやっていたのに」という声を聞くことがありました。土佐市は、3つの拠点をそれぞれの受託者が運営していますので、市としても統一した対応を図っていただきたいと思っています。

市長 緊急事態宣言下においては、3事業所で統一した閉所期間をお願いしていましたが、閉所解除後は、

1日開所にするのか半日開所にするのかは統一ができていませんでした。統一することは可能だと思いますが事業所によりサービス内容が違いますので、独自性があってもいいのではないかと考えています。

「友達と一緒に利用したい」という希望などもあり、個人によって状態も違いますので、あつたかの事業として統一して利用の制限を設けるのは難しいと考えています。

職員さんの数も限られたなかで、さまざまな対応をいただいていますので、今後の検討課題として考えております。

徳永 よろしく申し上げます。最後に、社協に対しての期待度や市長の思いをお聞かせください。

市長 近年の社協と市役所の関係は少しギクシャクした経緯もありましたが、私たちは福祉における車の両輪として、住民の皆様の幸せづくり福祉を守っていくというスタンスは、共有ができていますので、お互いに理解をし合い、心を一つに取り組んでいければと思っています。

社協が動きにくいということはないように市としても協力をしながら、会長さんの素晴らしい姿勢のもとで、手を取り合って取り組んでいければと思っています。

徳永 ありがとうございます。市役所と協力して、市民の幸せづくりに取り組んで参ります。これからも、ご指導・ご協力をお願い致します。



相談
無料

『土佐市生活相談センター』からのご案内

(生活困窮者自立支援事業)

土佐市社会福祉協議会では、生活にお悩みの方の相談をお聞きし、一緒に課題を整理して、解決に向けたお手伝いをしています。また、収入の減少や失業等により日常生活の維持が困難となっている世帯に対して、生活福祉資金の貸付を行なっています。



【お問い合わせ先】

▶ 土佐市生活相談センター (TEL: 088 - 852 - 2145) 月曜日 ~ 金曜日 9時 00分 ~ 17時 00分 (担当: 西村)

日常生活自立支援事業をご存知ですか？

高齢者や障害者の方などが、福祉サービスの利用や金銭管理など日常生活に必要なことについて、自分ひとりで判断することが難しくお困りの場合に、住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるように社会福祉協議会がお手伝いします。

ヘルパーなどの福祉サービスを利用したいが、どう手続きすれば良いかわからない。

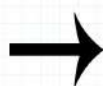


福祉サービスの利用援助

利用者さんにあった福祉サービスを一緒に考えます。



計画的にお金を使うことが難しい。
月々の支払いを忘れてしまう。



日常的な金銭管理/支払い代行

日常のお金のやりとりをお手伝いします。

通帳や印鑑をどこにしまったか忘れてしまうことがあり不安。



書類などのお預かり

金融機関の貸金庫を利用して保管します。

● 「専門員」と「生活支援員」がお手伝いします。

専門員... 一人一人にあった支援計画をつくります。

生活支援員... 支援計画をもとに実際にお手伝いをします。

● サービス利用開始後は **利用料** が発生します。

訪問などによる援助... 1時間 1,500円

保管サービスの利用... 年間6,000円 (分割可)

※生活保護を受けている方は利用料はかかりません。

事業の担い手となる生活支援員さん募集中!

サービス内容に少しでも関心を持たれた方は、お気軽にご相談ください。(相談無料)

関係機関の皆さまからのご相談もお待ちしております。

【お問い合わせ先】

▶ 土佐市社会福祉協議会 (TEL: 088 - 852 - 2145) 月曜日 ~ 金曜日 8時 30分 ~ 17時 15分 (担当: 川淵)

みんな集まれ！子ども食堂！！

土佐市で活動をしている4箇所の子どもの食堂が、それぞれコロナ対策を試みながら食堂を再開しました！



ムックン食堂（高岡）

主催者：土佐市社会福祉協議会

開催日：毎月第3日曜日 11時30分～14時00分

場 所：高岡市民館

地域に気軽に集える居場所として、子どもたちや子育てに悩むお母さん、お父さん、地域住民の方などたくさんの人がつながり、温かい食事を食べて笑顔いっぱいになれる食堂を目指しています。

ぬますぎ食堂（高石）

TAKE
OUT

主催者：高石地区地域交流会実行委員会

開催日：不定期(年4回程度) 11時00分～13時30分

場 所：高石小学校

小学校の家庭科室をお借りして不定期で開催しています。どの世代の方もほっと一息つける憩いの場として、地域に愛される食堂を目指して続けています。



ぱるこ蓮池（蓮池）

主催者：蓮池地区社会福祉協議会

開催日：毎月第4日曜日 11時00分～14時00分

場 所：調整中

「高齢者から子どもまで世代を超えて交流をしたい」という思いから、地域のいきいき百歳体操から発足しました。子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目指し、子どもの未来を築くためのサポートをしています。



まんぷく食堂（戸波）

TAKE
OUT

主催者：戸波地区子ども食堂応援団

開催日：毎月1回 11時30分～14時30分

場 所：戸波総合市民センター

「戸波の子どもたちに食を通じて少しでも何か助けになればいいね」という思いから、食生活改善推進員さんが中心となってスタートしました。地域のボランティアさんの協力を得ながら、地域で子どもたちを見守っています。





この広報紙は一部赤い羽根共同募金の助成金により発行されています。

相談

1月以降の相談対応

■総合相談

日常生活に関するさまざまな不安や問題について相談されたい方はこちら！ 事前にご連絡いただければ、待ち時間なく対応することができます。

■ふれあい相談（事前予約が必要になります。）

人権や相続などに関する相談を希望される方はこちら！
毎週月・水・金曜日
10:00 - 12:00 / 13:00 - 15:00

■無料法律相談（弁護士相談）

1月20日（水）、3月17日（水）、5月19日（水）
※奇数月の第3水曜日におこなっています。
ふれあい相談にて面談後の予約受付になります。

会員

社協会員の募集

土佐市社協では、だれもが安心して暮らしていけるように地域福祉の推進をおこなっております。

社協会員とは、**地域福祉の応援団**です。

社協は、地域に生じるさまざまな問題を解決するために地域住民やボランティア、関係機関と協力しながら地域福祉活動を推進していく民間団体です。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

自治会会員	300円 × 世帯数
特別会員	1,000円～（個人加入）
法人会員	2,000円～（団体加入）

貸出

福祉用具の無料貸出サービス

土佐市社協では、車椅子とチャイルドシートを無料で貸し出すサービスをおこなっております。
土佐市在住の方なら、どなたにでもお貸しすることができますので必要な方は本所まで問い合わせください。
貸出期間は、**2週間**です。

貸出期間は原則として上記のとおりですが、必要と認められる場合は、必要な範囲での延長も可能です。
台数に限りがありますが、是非ご活用ください。
福祉用具のご寄付もお待ちしております。

寄付

ご支援ありがとうございます

ムックン食堂への指定寄付

中平 様	10,000円
ボランティアさんがつくって販売してくださったマスクの売上げを寄付していただきました。	6,800円

土佐市社会福祉協議会への寄付

近澤 孝雄 様	15,000円
故 松本 誠郎 様	100,000円

「社会福祉に役立てて欲しい」という思いから遺贈いただきました。

【編集・発行】 社会福祉法人 土佐市社会福祉協議会

本所（総務課 / 相談支援課 / 地域福祉課）

開所時間 月～金曜日 8:30 - 17:15 休日 土日・祝日 / 年末年始
〒781-1102 土佐市高岡町乙 3451-1 土佐市複合文化施設つな一で 3F
TEL.(088)852-2145 FAX.(088)852-3194

あったかふれあいセンター高岡

開所時間 月～金曜日 9:00 - 16:00 休日 土日・祝日 / 年末年始
〒781-1101 土佐市高岡町甲 1771 (旧 土佐市老人憩いの家)
TEL/FAX.(088)881-5472 携帯 .090-7783-7814



左上：ホームページ

左下：facebook

右下：twitter

